

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

WWWにフォーカスするベンチャー企業 Internet World JAPAN '98開催

9月2日から4日まで、幕張メッセにおいてIDGワールドエキスポジャパン主催のInternet World JAPAN '98が開催された。3日間の入場者数29844人、展示会場は1ホールのみと規模こそ小さいものの、海外からのベンチャー企業を中心に、時代のニーズにマッチした個性あるプロダクトが数多く出展された。今話題のキーワードが満載の会場をレポートする。

編集部・倉園佳三

『WWW』、『セキュリティ』、『E-Commerce』

「インターネットで経費を節約する時代は終わった。これからはインターネットで儲ける時代だ」、IDGワールドエキスポジャパン代表取締役社長である玉井氏の開催宣言どおり、「不況の時代こそがチャンス」と言わんばかりのベンチャー企業の出展が目立った。

特に、海外からのベンチャー企業21社を集めた「インターネットベンチャーアベニュー」には、本場米国のInternet Worldを思わせるような個性あふれるプロダクトが目白押しだった。

今年のキーワードは大きく分けて3つ。「WWW」、「セキュリティ」、「E-Commerce」である。これらのテーマは、



Internet World JAPAN '98展示会場

どれもこの半年の間に本誌で特集として取り上げてきた、まさに今のインターネットのトレンドと言えるものばかりである。

ベンチャー企業が狙う ウェブアプリケーション市場

電子メール、コラボレーション、文書管理など、社内の情報共有ツールはグループウェアからWWWブラウザをインターフェイスにしたウェブアプリケーションへと移行し始めている。今年の展示会場でもウェブアプリケーション製品が目立った。

この分野でもっとも成功が期待できそうなプロダクトの1つが、米国シルバーストリームソフトウェアが開発を、ニチメンデータシステムが販売をそれぞれ担当する「シルバーストリーム」だろう。Javaによるウェブアプリケーションの開発から運用までをグラフィカルなインターフェイスで行え、セキュリティ面もSSLとRSAをサポートするなど、しっかり考慮されている。会場では、来場者の目の前でデータベースと連動する基幹業務アプリケーションを作成するなど、運用の手軽さをアピールした。

台湾と日本のジョイントベンチャー企業であるワールドネットサービスは、完成済みのウェブアプリケーションでこの市場に挑む。特に、チャット、掲示板、オンラインショッピングカート、顧客管理システムといったラ

インアップが興味深い。どれも今号の特集でも取り上げたポータルサイトが持つ機能ばかりだ。デモを担当した技術者によれば、「販売に際してニーズがあれば、どんな形にでもカスタマイズする」とのこと。

また、今回このトレードショーに参加した韓国勢の動きからも目が離せない。ネットビルの「FWBB」、DAUMコーポレーションの「IntraWare」など、優れた製品をローカライズして日本のウェブアプリケーション市場を狙う。

ブラウザ搭載電話とウェブメールサーバー

冒頭で挙げた『WWW』というキーワードはウェブアプリケーションだけを指すのではない。会場のいたるところで「ウェブ」に関連した製品が目をつけた。

もっともユニークだったのが、米国ブラネットウェブの「インタラクティブフォン」だ。これは、電子メール機能、ボイスメール機能、33.6Kbpsモデム、アドレス帳、カレンダーなどを内蔵した液晶モニター付きの電話だが、なんとオリジナルのブラウザまで装備している。「電話番号の検索にWWWを使うのが当たり前になれば、ニーズも高くなる」と担当者は予想する。

まさに今のトレンドをとらえたウェブメールのサーバーソフト「WallEdge」を強力にアピールしたのは、PC-UNIXの専門店として秋葉原でも有名なぶらっとホームだ。FreeBSDとapacheというフリーの環境で動作することもあり、来場者の関心をもっとも多く集めた製品の1つだろう。

VPNからセキュリティボックスまで

もう1つのキーワード『セキュリティ』、中でも「VPN」は、SOHO環境からエクストラネットまで、そのニーズは幅広い。今後、インターネットのビジネス利用にはなくてはならない機能になるはずだ。Internet Worldでも「セキュリティゾーン」と題して、VPNをはじめとするさまざまなプロダクトが展示された。

インターネット・ニュースの見方

一般に企業向けのセキュリティ関連製品は非常に高価であり、SOHO環境への導入にはどうしてもこの点が障害になる。そんな常識を破ってくれそうな製品が、米国ソニックシステムズの「SonicWALL」だ。ブルーのコンパクトな箱に、ファイアーウォールサービス停止攻撃の防御機能、ウェブサイトのコンテンツフィルターなど、さまざまなセキュリティ機能が詰め込まれている。DHCPサーバー、RAS機能、NAT機能にも対応して価格は30万円。通常なら、これらの機能の導入にはサーバーマシンとソフトウェアとで数百万円はかかる。セキュリティへの関心が高まる今、SOHOユーザーを中心にこのような価格帯の製品に対するニーズはますます高くなるだろう。

VPN製品では、アクセス制御からトラフィック制御までを「VPNルール・ベース・エディタ」というグラフィカルな画面で集中管理できるチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーの「チェック・ポイントVPNソリューション」のほか、山田洋行の「F-Secure」など、ハードウェアよりもソフトウェア製品が多く発表された。

バーチャルマネーと支払いシステム「セキュリティゾーン」と併設された「ECゾーン」では最新のバーチャルマネーや支払いシステムが顔を並べた。

アスキーサムシンググッドは、コンビニやパソコン店で専用カードを購入すれば、そこに印刷された番号で買い物ができる「Web Money」を展示。現在、ショッピングサイトなどを中心に40店舗以上で採用されている。富士ソフトABCは、利用者から加盟店への支払いを代行するQQQ（サンキュー）システムを展示。会場でもさかんに会員を募集していた。

日本でもまだそれほど普及しているとは言



米ブラネットウェブのインタラクティブフォン



米ソニックシステムズのSonicWALL

えないE-Commerceだが、これについてネットオブジェクトCEOであるサミール・アローラ氏は基調講演で次のように語っている。「WWWはE-Publishing “電子出版”の場からE-Commerceの場へと変わるはずだ」（384ページのインタビュー参照）

すべてがWWWにフォーカスする

今回のInternet World '98 JAPANを象徴するキーワードとして「WWW」、「セキュリティ」、「E-Commerce」を挙げた。これらが目指すものは、冒頭の玉井氏の言葉どおり、「インターネットの本格的なビジネス利用」であることは間違いなし。そして、それはウェブアプリケーションやVPNなどの技術に支えられたWWWを舞台に繰り広げられるだろう。ポータルサイトの登場も含めて、WWWがさらに大きな飛躍をとげる時代がやって来そうだ。

10月4日からは米ニューヨークでもInternet World'98が開催される。ここでも「XML」などを中心にWWWに関連する最新のプロダクトが数多く発表されるだろう。来月号では、その模様を詳しく紹介する予定である。

クリントン米大統領の偽証疑惑報告書がウェブサイトで公開 インターネットを使った情報公開は ここまで進んだ

米国を騒然とさせたクリントン大統領の不倫疑惑。米国だけにとどまらず世界的にその注目を集めた。その渦中9月11日に大統領不倫揉み消し疑惑の捜査報告書がインターネットで一般公開された。インターネットでの情報公開の即時性を印象づける今回の騒動をインターネットの側面から追ってみる。

編集部

445ページにも渡る 報告書の公開

クリントン米大統領と元ホワイトハウスの実習生モニカ・ルインスキーさんとの不倫疑惑をめぐり、あらゆる報道機関が情報収集に走り回ると、9月11日にスター独立検察官が下院に提出した捜査報告書の全文がインターネットで一般公開された。

報告書は下院本会議で本文公開の承認が議決されたのを受け、この議会のサイトで一般に公開された。本文は、年表から始まり、関係者リスト、疑惑の経過など全445ページから成るが、これらすべてがウェブページで公開された。

検察側は、この報告書の中で、今年1月の元アーカンソー州職員のパーラ・ジョーンズさんが起こしたセクハラ民事訴訟での大統領の証言に関し、ルインスキーさんとは「性的関係はなかった」という発言は偽証であると指摘したほか、証拠隠滅の一連の行動が弾劾を促せるとして、報告書に列挙して説明している。

報告書の内容を知った大統領の個人弁護士ケンドール氏らは一般公開後の11日夕、ホワイトハウス内で記者会見をし、大統領を当惑させる行為は政治的に損害をも与えるとして強く反発するなど、双方の対立はますます悪化した。

政治的な背景が重くのしかかる問題ではあれど、全世界からの注目は並大抵のものではなく、一方でウェブサイトへのアクセスの集中が懸念された。

インターネットの普及が 明らかになった瞬間

今回の報告書は、米国の議会図書館THOMASほか議会関連の3つのサイトがミラーサイトとして稼働した。事前の報道から、ミラーサイトも早々にURLが公開されたが、いずれも接続には時間がかかり、巨大な報告書の閲覧はままならない状況となった。この公式サイトへのアクセス状況の悪化を受け、CNNやABCなどのテレビ局やニューヨークタイムズ、ワシントンポストら新聞社など報道各社が報告書入手して自社のサイトに掲載する形で混乱を避けた。とはいえ、需要に供給が追いつかず、ネットワークの混み具合が目に見える形で現れた。インターネットが身近で、いち早く情報を受け取れる場であると実感しつつも、特に米国では情報伝達の手段として完全に定着したという認識がより一層明らかになった瞬間でもあった。

なお、CNNのサイトでは1分間に34万件のアクセスという記録を生み出したという。



THOMASにある捜査報告書のページ
URL <http://thomas.loc.gov/icreport/>

反論もウェブに公開 インターネットで飛び交う論議

捜査報告書に対するホワイトハウス側の反論文書も翌12日に公表され、インターネットでもその要約が流れた。この中でクリントン大統領の証言が偽証であるという報告書で挙げた各項目は、憲法が大統領に保障した権限の乱用であると述べている。これに対してホワイトハウス側では、あくまでも大統領の私的な問題に対する指摘で、弾劾に相当するような重大な犯罪ではないと主張、真っ向から対決する姿勢をとった。

これらのやり取りを米国民および世界各国の人々はインターネットを通してリアルタイムに知り、報告書に至っては全文をなんのフィルターもなしに受け取ることができたわけだ。

日本での情報公開と展望

こういった情報公開の流れは米国だけの話ではない。日本でも公的機関におけるインターネットでの情報公開が進みつつある。先ごろ全国で初めて埼玉県が、この10月から記者発表の内容をすべてインターネットに公表するという方針を打ち出した。これを受けて全国の自治体から、多くの問い合わせが来ているという。県民のアクセス権が保障される形になるが、一方で米国とは異なるインターネットの普及率に情報の格差が広がるのではないかと懸念の声も聞こえてくる。しかし、この日米の話題をきっかけとして、インターネットがより普及して情報伝達の直接的な手段であると社会的に認知されることを望みたい。



ホワイトハウス公式ページの大統領側の反論声明
URL <http://www.whitehouse.gov/WH/New/html/clnout14.html>

電子民主主義の実現に向けて 第1回コミュニティネットワーク協会 会議報告

7月17日から18日にかけて、カリフォルニア州サンノゼ市でコミュニティネットワーク協会（AFCN = Association for Community Networking）の第1回会議が開かれた。電子民主主義社会を実現すべく、インターネットアクセスの現状と全市民へのインターネットアクセス権をどう確保すべきかといったことが論議された。

フリージャーナリスト 吉本秀子

「ユニバーサルアクセス」の必要性

現在、米国のインターネット利用者数は人口の30%にも達する勢いだ。内訳を見ると、白人に比べて黒人の利用者が極端に少ないことや都市部に比べて非都市部における利用料が割高であることなどが判明し、必ずしもインターネットのアクセス環境が平等でない現状が問題になっている。

AFCNは、このような情報格差の現状をふまえ、全米各地で地域ネットワークの構築に携わっている有志によって昨年結成された団体である。第1回会議の参加者は50人程度だが、80年代から各地で草の根的なボランティアネットワークの構築に携わり、「電子民主主義」の可能性を論じてきたユニークな面々が参加している。

まず、電子民主主義に向けての障害の1つとしてやり玉に挙がったのが、96年の通信法だ。基調報告を行ったノースカロライナ州の非営利団体NCエクステンジのテリー・グランワルド氏は、開口一番「ユニバーサルアクセスの原則が機能しなくなったのは、この通信法が通過してからだ」と同法に対する批判を投げかけた。

「ユニバーサルアクセスの原則」とは、電話や道路のように、「インターネットがすべての市民に対してアクセス可能な公共のメディアでなくてはならない」という原則だが、参加者たちはこの原則を電子民主主義が機能するために必要最低限の条件と考えていたようである。民主主義が機能するためには、参政権や言論の自由などの権利が

確保されなければならないが、同様に電子民主主義の実現に向けては、まずインターネットへのアクセスが保証されなければならないというわけだ。

実は、ユニバーサルアクセスの原則は、この96年の通信法にも明記されている。しかし、その実現に向けての具体的方策が確定しないまま、電話会社の大型合併に代表されるように、同法によって定められた自由競争の原理だけが機能している。その中で、情報富者と情報貧者の間の格差のみが拡大している。グランワルド氏によれば、「特に学校、図書館、非都市部の医療機関などの公共施設が、いま情報貧者になりつつある」という。

インターネットアクセスを提供する非営利団体への向かい風

米国では、以前から、放っておけば商業主義の流れの中で取り残されるであろう人々に対するアクセスを保障する必要性が議論されている。また、そういう人たちに技術サポートや安価なインターネットアクセスを提供している非営利団体が各地にある。グランワルド氏の所属するNCエクステンジも、そういう団体の1つだ。

しかし、今、このような非営利団体の活動も、商業主義的な流れの中で危機に瀕している。たとえば、オレゴン州で低所得者向けに安価なインターネットアクセスを提供しているオレゴン・パブリック・ネットワーク（OPN）の場合を見る。報告に

よれば、OPNは、今まで「教育」目的の非営利団体として免税が認められていたが、インターネットアクセスを提供しているという理由で、ほかの商業プロバイダーと同等に扱われ、免税特権を剥奪されそうになった。会議では、このような非営利団体の活動を支援していく必要性も論議された。

また、参加者の中でヒッピー風の服装をして目立っていたのが、作家のハワード・ラインゴールド氏だ。ラインゴールド氏も、「インターネットが地理的境界を越え、ビジネスが国際化しているため、地域ベースの小規模ビジネスが危機に瀕している」と、インターネットの行く末を弱肉強食の市場原理だけに任せておくことへの疑問を提示していた。

ラインゴールド氏は、93年の著作「パーチャル・コミュニティ」（邦訳は95年、会津泉訳、三田出版会）の中で、90年代後半こそが、電子民主主義という「技術愛好者たちの夢」が本当に実現するかどうかの分岐点になるだろうと指摘している。彼は、98年である今を、その分岐点と感じているようだった。

「インターネット」は誰のものになるのか

インターネットが大企業だけによって支配されるメディアになるか、それとも、一部の早期利用者が夢見たような民主主義のツールとして機能するようになるのか。今、私たちは、その重要な分岐点に立っているのかもしれない。

もちろん、この会議の参加者たちは、インターネットを日常的に使っている情報富者たちだ。しかし、そういう富者が貧者救済の方策を真剣に議論する。米国の民主主義は国家レベルの方策ではなく、実は地域レベルで活躍する個人の努力によって成り立っている。そういうことを実感させられる会議だった。

ネットオブジェクト社CEOサミール・アローラ氏に聞く 統合によって進むWWWのビジネス利用

ネットオブジェクト社のウェブサイト構築ツール「フュージョン」が日本での発売されてから約1年。現在では、国内外ともにインターネットのメジャープロダクトに上りつめた。そして、同社CEOであるサミール・アローラ氏はInternet World '98 JAPANで基調講演をつとめるほどの有名人となった。来日したアローラ氏にWWWの未来を聞いた。

聞き手：編集部



ネットオブジェクト社CEO
サミール・アローラ氏

います。面白い例としては、皆さんご存知の「カーマガジン」と「エルマガジン」のサイトがフュージョンで作られています。



Q：今後、WWWはどのように進化していくと思いますか。

アローラ：これまで、企業にとってWWWは「お金を節約する」という目的に使われていましたが、今後は「お金を儲ける」ために活用されるようになるでしょう。そして成功の鍵は「統合」にあると思います。

現在のWWWには「パブリッシング」と「コミュニケーション」、そして「アプリケーション」の3つの役割があります。これらが、さまざまな用途の中で互いに結合しあって、新しいメディアを生み出していくのです。

たとえば、「パブリッシング」と「アプリケーション」が組み合わされば、速報性のある連続的な出版ができるでしょう。「パブリッシング」と「コミュニケーション」が結びつけば、インタラクティブなメディアが生まれます。「コミュニケーション」と「アプリケーション」が統合されれば、チャットのようなリアルタイムコミュニケーションができるようになります。

つまり、WWWは「今まであったものを新しい方法で行う」メディアになるということです。そして、それによってさまざまな変革が起ってくるはずですが、もし、このような未来のWWWの姿を見なければ、1人1人がこの変革に積極的に参加することが必要ではないでしょうか。



Q：ありがとうございました。



Q：ポータルサイトの登場でWWWが本格的に「儲かる場所」となりつつある今、ネットオブジェクト社はどのような役割を果たしていくのでしょうか。

アローラ：今後、WWW上のビジネスはこれまでにないほど急速に発展していくでしょう。現在のビジネスサイトは次の3種類に分けられると思います。まず、「E-Publishingサイト」。これは一般的な企業サイトで、その目的は情報の出版（パブリッシング）です。次に、実際にサイト内で商取引を行う「E-Commerceサイト」があります。そして最後に「E-Businessサイト」。これは企業と顧客、あるいは企業間のさまざまなデータ共有の場です。そして、すでにこれらのサイトがすべて統合される時代を迎えようとしています。

そうすると、私たちの役割は単にホームページを作る手伝いをするところから、もっと複雑な部分に対応し、総合的なウェブ上でのプレゼンスを手助けすることへと変わ

ってきます。そのために「フュージョン」だけでなく、新製品である「オーサリングサーバー」、ロータスから販売権を獲得した「ビーンビルダー」など、複雑なコマースサイトを構築するためのプロダクトを充実させていきたいと考えています。



Q：ビジネスサイトという分野ではフュージョンはどのような実績をあげていますか。

アローラ：この1年でがらりとマーケットが変わりました。現在、フュージョンの顧客の60パーセントが中小企業です。ここでは具体的には、先にも述べた「E-Publishingサイト」を自分で作る、あるいは社内のイントラネットを自分で作るといったニーズに応えています。特に、共同作業でイントラネットを構築する場合には、「チームフュージョン」が多く使われています。

そして、残りの40パーセントが世界的規模の大企業です。その中でも最近特に目立っているのが「E-Commerceサイト」構築での利用です。「ロータスドミノ」や「ア

イキャット」などの商取引ができるサーバー上でフュージョンが使われています。

具体的な例としては、中小企業では米国でも多くの店舗を持つ紳士服メーカーの「メンズウェアハウス」、大企業では「ボーイング」や「クライスラー」などフォーチュン500に名前が出るような企業で使われて



基調講演に立つサミール・アローラ氏

ダブルクリック社CEOケビン・オコナー氏に聞く インターネット広告市場の動向を探る

現在は発展の一途をたどるインターネット広告だが、ポータルサイトの隆盛で広告形態は今後どのように変わっていくか。また、インターネットは広告メディアとしての熟成期を迎えつつあるのだろうか。日本法人設立1周年を記念して来日したダブルクリック社CEOのケビン・オコナー氏に話をうかがった。

聞き手：編集部



Q：この1年間を経て、日本のインターネット広告市場についてどんな印象を持っていますか。

オコナー：日本の広告市場については、アメリカとの違いを3つ感じています。まずアメリカとの時間のずれです。広告主もインターネットにおいてはまだテスト段階です。1、2年ほどの遅れを感じます。それから博報堂や電通などの大手広告企業が力を入れている点です。アメリカでは、初期はインターネット専門の広告代理店が先導していて、一般の大手広告企業が参入してきたのは最近なんです。さらに3つめはインターネットへの接続費用が個人・法人ともに高価なことで、これはぜひ変わってほしいと思っています。



Q：ポータルサイトについてはどう思われますか。

オコナー：非常にいい広告媒体だと思います。人が集まることや、検索キーワードでの広告配信が可能なおかげで、簡単に効果的な配信ができました。その一方で、ポータルサイトはフォレストリサーチの調査によると、96年にインターネット全トラフィックの15%を占めていましたが、98年も15%程度と予想されています。つまり、数値としては目立ってはいませんが全体のトラフィック量も同時に増えていますので、ポータルサイトのみがよい広告媒体だとは言えません。広告主はブランディング（商

品または企業名の認識）とターゲティング（ユーザー絞り込み）を含めてさらに大きな層を望んでいるので、たとえば検索キーワードでの広告配信だけではすまなくなっているのが現状です。

ダブルクリックは現在14か国にネットワークを持ち、2900のサイトに2000以上のクライアントからの広告を掲載しています。1か月に30億バナーを4000万人以上のユーザーに配信しているため、ポータルなどの巨大なサイトとコンテンツが特化されたサイトの、両方のサイトとユーザーに配信できる環境を持っています。つまり、広告主のさまざまな希望に対応できる環境を持っているということです。



Q：従来のマスメディアと比べて、インターネットの広告効果についてはどう思われますか。

オコナー：テレビなどのマスメディアに比べて、非常に深いターゲティングと広告配信をコントロールできるところが第一のポイントです。また、広告効果をすぐに広告主に返すことができます。

さらにEC関連の広告主にとっては最強の広告媒体となります。広告効果を正しく計ってマーケティングに活かすために、現在、長期にわたる消費者動向の観察やブランディング効果の追跡測定の手法を検討してい



ダブルクリック社CEO
ケビン・オコナー氏

ます。バナークリック後のサイト内での動きだけではなく、その人が過去6か月にどのようなものを買った、見たということを追跡できる機能をすでに開発していますので、近々発表できると思います。ブラウザのクッキーも使用していますが、それだけではなく独自の技術を開発しています。



Q：インターネット広告とダブルクリックの今後についてはどうお考えですか。

オコナー：2000年までには30か国へネットワークを広げようと考えています。複数の国をまたがった配信もすでに行っているため、エリアを広げることによってさらにバリエーションに富んだ広告配信が考えられます。インターネットについて先進国といえるアメリカでも、広告についてはまだ情報テクノロジー関連の企業からの配信が多く、メーカーなど一般の広告主の意識はそれほど高くないのが現状なので、これからさらに市場を大きくできると考えています。世界的な状況を見るとアメリカに続いて今後の成長が見込まれるのは、イギリス、ドイツ、カナダ、スカンジナビア、そして日本でしょう。

URL <http://www.doubleclick.net/jp/>



1周年を迎えたダブルクリックジャパンのメンバーと。左から2人目が山村幸弘社長

Product NTTが
データポートだけの
廉価版TAを発売

日本電信電話は、電話とパソコンを別の場所に設置したい、あるいは2台目のパソコンを接続したいというユーザー向けにデータポートだけを搭載したTA「INSメイトD-4」の販売を9月4日より開始した。インターフェイスは9ピンのシリアルポート1つとS/T点がつというシンプル設計。外付けのDSUやDSU内蔵のTAに接続する。BOD機能を装備。価格は12,800円。

問い合わせ NTT通信機器事業推進部 第一商品部 FAX 03-3509-5538



本体寸法はW120×D135×H30 (mm)

Product TDKが
LANとPHSのコンビネーションPCカードを発売

TDKは、10BASE-TのLANとPHS通信の両機能を装備したLAN & PHSデータPCカード「DFL3200」を9月1日に発売した。PHSはNTTパーソナルの32Kパルディオシリーズのみ対応。このカード1枚でオフィスから屋外までサポートできる。添付のFAXソフトを使えば、NTTパーソナルが設置するPTE（プロトコル変換装置）経由でFAX送信もできる。価格は29,800円。

URL <http://www.tdk.co.jp/tjbd01/>



ウィンドウズ95/98/NT4.0用のPCカード

Product サイクューブが
56KモデムとLANのコンビネーションカードを発売

サイキューブは、世界標準規格のITU-T V.90と米ロックウェル社らが提唱するK56Flexの両方の規格に対応したFAXモデム、および10BASE-TのLAN機能を1つのPCカードに搭載した「LFM-105 LANモデムカード」を9月1日に発売した。この機能は同時に利用でき、モデムは最高56Kbpsでの受信が可能。対応OSはウィンドウズ95/98/3.1/NT。価格は33,800円。

URL <http://www.cyqve.co.jp/newpage2.htm>



対応機種はPC/AT互換機とPC-98NX、PC-9800シリーズ

Product スリーコムが
V.90とx2両規格準拠の
PCカードモデムを発売

スリーコム ジャパンは、ITU-TのV.90規格と3Com x2テクノロジーの両方の56K規格に対応したPCカード型FAXモデム「メガヘルツ XJ1560J-PU」(ウィンドウズ版)、「メガヘルツ XJ1560J-AU」(マッキントッシュ版)を8月29日に発売した。56Kbps高速通信のほか、RJ-11のモジュラーケーブルが直接つながるXJACKコネクタを採用と携帯性に優れている。フラッシュROMでファームウェアの拡張に対応する。価格は29,800円。

URL <http://www.3com.co.jp/releases/98/082798.html>



V.90/x2両方の規格を自動認識

Product シャープが電話、FAX
インターネットを1台で
できる製品を発売

シャープは、電話、電子メール、インターネット、FAXが1台でできる次世代コミュニケーションツール「液晶マルチメディアホン NC-10」を10月15日に発売する。7.7型VGAカラー液晶タッチパネルを採用し、電話の相手の名前や住所などを表示、メモも書ける。電話はナンバーディスプレイに対応。メッセージボタンでメールやFAXの着信がわかる。メールの自動受信やホームページのオートパイロット機能も搭載。価格は150,000円。

URL <http://www.sharp.co.jp/>



アナログ回線に接続。子機は1台標準装備

Product NTT中央パーソナルが
PHS接続の手軽な
メール端末を発売

NTT中央パーソナル通信網は、32Kパルディオに接続して電子メールが利用できる「パルディオ・Eボード EB-1C」を9月下旬に発売する。NTTドコモが発売して大ヒットしたポケットボードのPHS版で、フルキーボードと液晶ディスプレイを搭載。PHS接続ケーブルも本体に収容でき、携帯性に優れている。プロバイダーと契約しなくても10秒7円でメールの送受信ができる。価格は19,800円。本体カラーはシルバーのみ。

URL <http://www.nttphs.co.jp/chuo/>



単4形アルカリ乾電池2個で連続24時間使用可能

Product

キヤノンが SOHO向け レーザープリンターを発売

キヤノンは、SOHO向けのA4判レーザープリンター「キヤノンレーザーショットLBP-320Pro/220Pro」を79,800円/59,800円を10月1日に発売する。高性能のパーソナル・ネットワークプリンターとして開発され、ネットワーク印刷に有効なソフト「Print Buddy」などを標準で装備。ただし、ネットワークアダプターはオプション。LBP-220Proはウィンドウズ専用機の廉価版。

URL <http://www.canon-sales.co.jp/>



A4を毎分6枚出力。写真はLBP-320Pro

Product

アプティが A3判ネットワーク対応 レーザープリンターを発売

アプティは、A3サイズに対応したレーザープリンター「PowerLaser E780」を8月28日に発売した。印刷速度はA4サイズで16ppm（ページ/分）、ファーストプリントは13秒。LANカードを内蔵したネットワークオプションモデルでは、IPX、NetBEUI、NetBIOS、TCP/IP、SNMPの各プロトコルに対応。イーサネット接続またはToken Ring接続が選択できる。また、ネットワーク印刷管理ユーティリティ「PrintWise」を使えば、WWWブラウザで印刷の状況を確認できる。価格は158,000円。イーサネットLANカードオプションが70,000円（本体と同時に購入の場合。単体購入時は78,000円）。本体寸法はW460×D370×H340（mm）。

URL <http://www.apti.co.jp/>

Product

インテルがファースト イーサネット対応の プリントサーバーを発売

インテルは、10/100Mbps自動認識機能を備えた1ポート製品「NetportExpress 10/100プリントサーバ」を9月4日に発売した。ネットワークスピードが混在するLAN環境でも安心して使用できる。Intel 486プロセッサや2MバイトのRAMなどの技術を統合し、業界最高水準のデータ処理性能を装備した。マルチプロトコルに対応。価格は57,000円。

URL <http://www.intel.co.jp/jp/intel/pr/press98/980903.htm>



本体寸法はW135×D108×H31（mm）

Product

ロジテックが 高速双方向対応の プリントサーバーを発売

ロジテックは、IEEE1284準拠の高速双方向パラレルポートを1つ持つプリントサーバー「LAN-PSVF1」を発売した。10BASE-T/100BASE-TXポートを1つ持ち、ネットワークスピードを自動認識する。プロトコルはIP、IPX/SPX、NETBEUI、Apple Ether Talkに対応。ウィンドウズ95/98によりピアツーピアプリントもできる。マッキントッシュからの印刷は一部のPostScriptプリンターのみ可能。価格は32,800円。

URL <http://www.logitec.co.jp/goods/lan/lanpsvf1.html>



本体寸法はW135×D110×H28（mm）

Product

関西電機が PCIバス対応無線LAN アダプターを発売

関西電機は、2.4GHz無線LAN「AIRPORT LAN」に新たにPCIバス対応の無線LANアダプター「ALN-PCI」を追加、9月7日に発売した。伝送速度は1.6Mbpsでマルチチャンネル方式を採用、複数で同時に使用してもスループットの低下を最小限に抑えられる。PCI Ver.2.1以降のバスを搭載したDOS/V機、PC98-NX、PC-9821シリーズに対応。ウィンドウズ95/98/NT3.5x/4.0用。価格は129,000円。

URL <http://www.kansai-elec.co.jp/>



PCIバスに差し込むだけの簡単セットアップ

Product

リンクシスが 100Mbpsネットワーク 製品のセット販売を開始

リンクシスは、100Mbpsのネットワーク製品をひとまとめのパッケージにした「Black Magic」インスタント100Mbpsパワーアップキットを発売した。パッケージには、10BASE-T/100BASE-TX対応ネットワークカード2枚、100Mbps対応ハブ1台、UTPカテゴリ5のストレートケーブル2本が入っている。また、ウィンドウズ95/98/NT、NetWareのドライバーが付属しているほか、Linuxのドライバーもウェブサイトからダウンロードできる。さらに、ネットワークカードのインストールからネットワークの構築までをわかりやすく解説したユーザーガイドが付属している。価格は29,800円。

問い合わせ ㈱リンクシス・ジャパン
TEL 03-5259-5137

Product ミノルタが拡張インターフェイス搭載150万画素デジカメを発表

ミノルタは、新世代のデジカメのOS「Digita」を搭載、150万画素CCDの超小型光学3倍ズームレンズ機「Dimage EX ZOOM 1500」(128,000円)と同じ大口径(F1.9)ワイドレンズ搭載の「Dimage EX WIDE 1500」(価格未定)の年内発売を発表した。パソコンの拡張スロットに相当する「EXデジタルバス」でオプションのWIDE/ZOOMレンズや高画質CCD搭載レンズユニットに交換できる。

URL http://www.minolta.co.jp/japan/press98/dp/dimageex_j.html



秒3.5コマの高速連写撮影ができる

Product ソニーが光学一眼レフ搭載デジカメを発売

ソニーは、大口径光学5倍ズームレンズ、150万画素CCDを搭載したハイエンドユーザー向け「Cyber-shot PRO DSC-D700」を10月25日に発売する。レンズに各種62mm径フィルターを装着できる。価格は235,000円。また、10月10日には3.5インチFDを記憶媒体としたDigital Mavica「MVC-FD81」(99,800円)を発売。MPEG1方式で圧縮した動画と音声を記録できる。

問い合わせ ソニーお客様相談センター
TEL 03-5448-3311



1秒2コマの高速連写が可能なCyber-shot PRO

Product オリンパスが光学3倍ズーム搭載デジカメを発売

オリンパス光学工業は、「CAMEDIA」コンパクトシリーズ初の光学3倍ズームレンズ、1/2.7インチ131万正画面素CCD搭載のデジタルカメラ「CAMEDIA C-900 ZOOM」を11月に発売する。逆光時や被写体と背景の輝度差が大きい場面でもきれいな写真が撮れる「デジタルESP測光」を採用したほか、マニュアルホワイトバランス設定などを装備。価格は89,800円。

URL <http://www.olympus.co.jp/LineUp/Digicamera/c900z.html>



本体寸法はW127 x D53 x H66.5 (mm)、重量270g

Product 富士写真フィルムが小型・軽量の85万画素CCD搭載デジカメを発売

富士写真フィルムは、携帯性に優れた小型軽量の85万画素原色CCD搭載デジタルカメラ「CLIP-IT80」(写真/49,800円)を10月25日に発売する。省電力設計で、単3形乾電池4本で約500枚の撮影が可能(液晶オフ時)。新画像処理回路によりメガピクセル機に迫る画質を実現、各種エフェクト機能も装備した。同時に光学3倍ズーム150万画素CCD搭載の「FinePix600Z」を発表。マニュアル機能で多彩な撮影モードを指定できる。11月発売予定。

URL <http://www.fujifilm.co.jp/>



本体寸法はW110 x D33 x H77 (mm) 重量200g

Product 理経が低価格ギガビットイーサネットスイッチを発売

理経は、米エヌベース・コミュニケーションズ社が開発したギガビットイーサネットスイッチ「GFS 3012」の国内販売を開始した。4スロットのシャーシ形式により最大12ポートのギガビットイーサネットを搭載できるのが特徴。ほかに、8Gbps(ギガビット/秒)のバックプレーン、550万pps(パケット/秒)の処理能力を備えている。価格は50万円から500万円(構成による)。問い合わせ (株)理経 ネットワークインテグレーション部 TEL03-3345-2776



各種スイッチングモジュールを組み合わせられる

Product アドビシステムズがサイト管理機能を強化したウェブ作成ツールを発売

アドビシステムズは、世界初のWYSIWYG形式HTMLオーサリングツールの新バージョン「マッキントッシュ版Adobe PageMill 3.0 日本語版」を11月末に発売する。ローカルサイト内のファイルの一覧表示やエラーファイル、外部URLのチェックなどサイト管理機能が強化された。また、行の高さや幅を手動で調整できるテーブル作成機能や、フレームの作成機能、WYSIWYG編集モードとHTMLソースモードをそれぞれ別ウィンドウで表示できるといった機能が加えられた。さらに、タグの「face」属性をサポートし、ユーザーインターフェイスを強化するなど、より使いやすくなっている。Adobe Photoshop 4.0 LEを付属。価格は12,800円。

URL <http://www.adobe.co.jp/product/pagemill/>

Product トーメンエレクトロニクス
がストリーミングビデオ
配信ソフトを発売

トーメンエレクトロニクスは、ウェブページからストリーミングビデオを配信できるソフトウェア「Emblaze VideoPro」(イスラエルGEO社開発/販売)を9月21日に発売した。専用サーバーやサーバーソフト、プラグインを必要とせず、パソコンに取り込んだビデオデータを変換するだけ。このため誰でも簡単に低コストでビデオ配信ができる。ウィンドウズ95/98/NT4.0用。価格は58,000円。

URL <http://www.jp.emblaze.com/>



AVIファイルを最大200分の1まで圧縮できる

Product エルゴソフトが
Mac用インターネット
自動巡回ソフトを発売

エルゴソフトは、マッキントッシュに対応したインターネット自動巡回ソフト「ネットゴーランド for Macintosh」を9月25日に発売した。すでに発売されている「ネットウォーカー」に、ダウンロードしたデータの収集や一覧表示をする「File Viewer」機能や巡回するページのURLに対する詳細な設定項目を指定できたり、検索対応サイトを増やしたりといった新機能の増加により名称を新たに変更した。価格は7,800円。

URL <http://www.ergo.co.jp/>



ダウンロードページリスト画面

Product コラボが
レターパッド付き
電子メールソフトを発表

コラボは、気分や目的に応じて、使用するレターパッド(便せんやカード)やスタンプなどを変えられる電子メールソフト「PinkRabbit」(ピンクラビット)を発表した。ウェブサイトから版をダウンロードできる。正式版の公開は10月の予定。PinkRabbitは電子メール機能のほかに、1対1でキーボードを使った会話ができる機能(TALK機能)などもサポートしている。ウィンドウズとマッキントッシュに対応。

URL <http://prabbit.colabo.co.jp/>



アイテムの組み合わせで自分だけの電子メールを作れる

Product ネットワークアソシエイツが
PGP暗号化ソフトと
ウイルス検出ソフトを発売

ネットワークアソシエイツは、個人向けの128ビットPGP暗号化ソフト「PGP Personal edition Ver.5.5.3j日本語版」の販売を9月25日に開始した。電子メールやその添付ファイルなどを暗号化するセキュリティソフトで、デジタル電子署名も付けられる。ウィンドウズ95/98/NT4.0用。価格は9,800円。また、ウイルス対策ソフト「VirusScan4.0」も11月に発売が予定されている。新型のウイルス検出エンジン技術で未知のマクロウイルスを検出して駆除する。さらに、今まで検出が難しかったポリモρφィクウイルスさえ、100%検出が可能。悪質なActiveXやJavaアプレットを阻止し、メールの添付ファイルもチェックできる。価格は未定。

URL <http://www.nai.com/japan/>

Product 日新電機が
セキュリティー
管理ツールを発売

日新電機は、米アクセント・テクノロジーズ社と提携して、システムセキュリティー管理ツールの日本語版を開発、販売する。日本語版で販売する製品は、セキュリティー監査ツール「OmniGuard/Enterprise Security Manager」(520,000円から)セキュリティー検査ツール「NetRecon」(600,000円から)、不正アクセス監視ツール「Intruder Alert」(520,000円から)の3本。

問い合わせ 日新電機(株)製品営業担当窓口 TEL 03-5821-5914



ネットワーク全体のルール運用状態を監視できる

Product アンテナハウスが
SGML/XML自動タグ付け
および編集ツールを発売

アンテナハウスは、ワープロ文書をSGMLとXML文書に変換する自動タグ付けツールに専用のエディターを搭載した「Tagme98 + TagEditor」を9月21日に発売した。自動タグ付けツール「Tagme98」は、ドキュメント構造を意識せずにワープロで作成した原稿を、文書コンバーターのような感覚でSGMLまたはXMLの文書に変換できるのが特徴。ウィンドウズ95/98/NT4.0に対応。価格は44,800円。

問い合わせ アンテナハウス(株)TEL 0426-21-2569



ワード98や一太郎8などの文書ファイルに対応

Product 三菱電機システムウェア
がWWWブラウザで管理
するスケジューラーを発売

三菱電機システムウェアは、ビジネスソフト1'sシリーズの新製品「R1 for Web」を発売した。「R1 for Web」は同社のビジネススケジューラー「R1 for Windows」のオプション機能で、使用するには「R1 for Windows バージョン3.0」以降（別売）が必要になる。WWWブラウザで、予定表、行先案内板、掲示板などを参照、編集できるのが特徴。価格は98,000円。

URL <http://www.mworld.or.jp/jp/catalog/r1wcata.html>



WinとMacが混在する環境での情報共有が可能

Product ポイントキャストが
ポイントキャストネット
ワーク新バージョン発表

ポイントキャストは、同社のプッシュ型ソフトウェアの最新バージョン「ポイントキャストネットワーク2.6 日本語版ベータ」を発表した。新機能は、IPマルチキャストによってイントラネット内でメッセージをポイントキャストネットワークユーザー全員に配信するアラート機能やリアルタイムに情報を更新する機能のほか、チャンネル選択の自動化が追加された。これまでのバージョンでは、メモリーを多く消費するためにシステム全体のパフォーマンスが低下してしまうという問題があったが、これも改善されている。ベータ版のダウンロードはすでに9月18日より開始され、10月中旬には正式版の発表を予定している。

URL <http://www.pointcast.ne.jp/>

Product マイクロソフトが
商用プロバイダー向けの
ソフト統合製品を発表

マイクロソフトは、商用プロバイダー向けにインターネット上でネットワークサービスを提供するためのソフトウェア統合製品「マイクロソフトコマーシャルシステム(MCIS) 2.0」を発表した。MCIS2.0はサイトサーバー3.0コマースエディションを核としたサーバー製品群の統合パッケージで、商用プロバイダーがサービスとして提供するオンラインサインアップ機能やWWW、電子メール、ネットニュースからECサイトのホスティングなどが実現できる。すでにニフティサーブやBT-NISといった企業が採用を予定。10月1日から商用プロバイダーのような第三者にサービスを提供する企業にのみリセラーを通じて販売する。

URL <http://www.microsoft.com/japan/products/mcis/>

Product サイボузが
UNIXサーバー対応
グループウェアを発売

サイボузは、UNIXサーバーに対応したイントラネット型グループウェア「サイボузOffice 2」を9月28日に発売する。クライアントにWWWブラウザがあれば、簡単に利用できるグループウェア。UNIX版では、Solaris 2.5.x/2.6.x、SunOS 4.1.x、FreeBSD 2.x、Linux 2.xに対応している。用意されているアプリケーションは、スケジュール、行き先案内、掲示板、施設予約などでユーザー数によって価格が異なる。これらのアプリケーションを含んだ「サイボузOffice パック 2」は50ユーザーで99,800円から。別途ウィンドウズ版が発売されている。なお、ホームページでUNIX版を公開、10月31日まで試用できる。

URL <http://cybozu.co.jp/>

Service 共同通信社ほか
新聞のホームページ
検索サービスを開始

共同通信社ほか新聞社37社は、各新聞社が公開しているホームページを横断的に検索できるサービス「Japan Press Index」(日本新聞ネットワーク、JPI)を9月1日から開始した。一覧や検索ができるのは41紙で、ニュース、スポーツ、社説・コラムなど11のカテゴリーに分類されている。また、エヌ・ティ・ティ・アドが運営する「goo」を利用して地域別、新聞別にフリーワード検索もできる。

URL <http://jpi.kyodo.co.jp/>



JPIのトップページ。全国の情報を網羅

Service 米Real Networks社が
番組ガイドのページ
RealGuideを公開

米Real Networks社は、ストリーミングコンテンツを集めた番組サイト集「Real Guide」を開始した。リアルプレイヤーで動くコンテンツのリンク集で、ライブ中継、ニュース、スポーツ、音楽、テクノロジーといったカテゴリーで分類されている。日本でもすでにリアルネットワークス社が開発しており、日本語のサイトが簡単に探せる。

URL <http://www.real.com/realguide/> (米)

URL <http://realguide.jp.real.com/> (日本)



利用する前にリアルプレイヤーをインストールしておく

Service

ワールドコムが 自前の光ファイバー網構 築などのサービスを発表

ワールドコムは、日本での自前光ファイバーケーブル回線の敷設工事開始と、主要なサービスの計画内容を9月10日に発表した。まず東京都千代田、中央、港、新宿、品川の各区内に光ファイバー回線の環状ネットワークを構築し、一部地域での年内サービス開始を目標とする。さらに現在敷設中の日米間光ファイバー回線と接続し、海外のワールドコムネットワークに高速接続のできる環境を目指す。また「0071」「0072」による国際電話サービス、国際高速デジタル専用線サービス、「5539」の局番による東京市内電話サービスなどの計画も併せて発表し、いずれも低価格で提供する考えであることを明らかにした。

URL <http://www.wcom.com/japan/>

Service

メルコが インターネット環境の 構築サービスを開始

メルコは、インターネット使用環境の構築からアフターケアまでをワンパッケージにしたトータルサービスプラン「おまかせインターネット」サービスを開始した。基本コースとして、すでにパソコンを持っているユーザー向けの「パワーアップコース」、パソコンの購入も含めた「おまかせコース」(390,000円から)、パソコンの購入からデジタルカメラなどを使った映像の記録、ホームページ作成までを含めた「パワフルコース」(69,000円から)がある。長期的なアフターサポート体制で後々まで安心できるサービスプランになっている。このほかに、希望に沿ったコースを依頼できる。

問い合わせ メルコサポートセンター名古屋
TEL 052-241-9311

Service

システムソフトが アウトレットショップを ウェブ上にオープン

システムソフトは、旧バージョンのビジネスアプリケーションを安価で販売するアウトレットショップをインターネット上にオープンした。店の名前は「Theアウトレクト」。アウトレクトとはアウトレットとダイレクトから作った造語で、最新版のリリースにより販路を失った旧バージョンのビジネスアプリケーションを安価で販売して、低迷する市場の活性化を促すことを目的としている。

URL http://www.systemsoft.co.jp/out_rect/



Adobe PhotoShop 4.0 日本語版は半値以下で買える

Technology

ヤマハが MIDIファイルの電子透かし 技術を開発

ヤマハは、デジタル音楽の不正コピーを防止するために、MIDIファイルに電子透かし情報を書き込めるソフトウェア「MidStamp」を発表した。電子透かし情報とは、著作権者名などの情報で、既存のMIDIファイルの中にこの情報を埋め込み、ユーザーが不正にコピーした場合も情報が一緒に付いてまわる。電子透かし情報はユーザーが勝手に除去できない。MidStampでMIDIファイル上に電子透かし情報を埋め込んで、業界標準のSMF(Standard MIDI File)との互換性は保たれているため、再生には支障がない。今後は、「MidStamp Viewer」を提供して、ユーザー自身が不正にファイルが修正されたのを確認できるようにするという。

URL <http://www.yamaha.co.jp/english/news/98090302.html>

Technology

米Live Picture社が ネットワークを利用した 文書配布技術を発表

米Live Picture社は、サンフランシスコで行われたDTP分野の展示会「Seybold Publishing Conference」で、ネットワークを利用した文書配布技術「Network Publishing」を発表した。社内文書やカタログ、ニュースレター、マニュアルといった企業で出回っている文書類をネットワークを使って配信し、WWWブラウザで簡単に見られるようにすれば、企業のドキュメント生産コストを大幅に削減するほか、情報の提供も早くなるというメリットがある。この技術はアドビシステムズの「PDF」とLive Pictureの「FlashPix」をベースに開発された。ほかにもキヤノン、サン・マイクロシステムズが対応を発表している。

URL <http://www.livepicture.com/press/releases/p81.html>

Technology

ウィンドウズNT 5.0 Beta3でIrTran-Pを 正式採用

ウィンドウズNT 5.0の開発が進められているなか、そのBeta3版でワイヤレス赤外線データ通信の標準方式「IrTran-P」の正式採用がこのたび決まった。IrTran-Pの画像転送拡張機能を除いて、従来の転送技術はすべて対応される。プラグアンドプレイでの接続も問題がなく、既存のマシンの約80%でこのBeta3のドライバーが利用できる。今回採用されるすべてのドライバーに内部品質テストが施され、その品質が確認された。通信速度が2、3Mbpsの範囲でのパフォーマンスを見ると、機器間の相互認識や接続設定が明確で、接続は非常に安定している。なお、ソニーやカシオのデジカメ、HPのプリンター、NTTのISDN公衆電話などがIrTran-Pをサポートしている。

Technology 日本IBMが 体に装着して使える 小型パソコンを開発

日本アイ・ビー・エムは、体に着けて持ち歩ける「ウェアラブル・パソコン」を開発し、9月11日に発表した。試用機は同社の「Thinkpad 560」とほぼ同等の機能。CPUはIntel MMX Pentium 233MHz。64Mバイトメモリー、IBM Micro Drive 340MBのHDDを持つ。OSはウィンドウズ95/98。小型コントローラーはマイクとトラックポイントなどで、ヘッドセットはマイクロディスプレイとイヤホン。

URL <http://www.ibm.co.jp/>



本体寸法はW80×D120×H26 (mm) 重量299g

Technology 郵政省が 各メディアの宅内配線を 統一する研究開発を開始

郵政省は、家庭内にあふれるマルチメディアの配線をシンプルにするために、統一した配線や接続機器を利用する「宅内ネットワークシステム技術」の研究開発を10月から実施すると発表した。これは、6月に電気通信技術審議会から出された答申に基づくもの。光ファイバー網の拡大やCATV、衛星放送など、通信、放送メディアの急速な普及に伴い配線が複雑化したため、機器をネットワーク化して、効率的に宅内配線を利用できるように研究がなされる。具体的には、統一された拡張性のある情報用配線、家庭内ネットワークと外部の多種多様なネットワークとの接続、家庭内のマルチメディアデータの蓄積などで、実現に大きな期待が寄せられている。

URL <http://www.mpt.go.jp/pressrelease/japanese/new/980818j501.html>

Technology WIDEプロジェクトが 被災者支援広域情報通信 実験を技術支援

WIDEプロジェクトは、8月26日から9月5日までの防災週間に、被災者支援広域情報ネットワーク推進協議会によって行われたイベント「平成10年度被災者支援広域情報通信実験」の技術協力を行った。被災者支援情報とは、災害時における被災者の安否情報や所在地情報のほか、ライフライン、交通基盤の被害状況など。WIDEプロジェクトでは、安否情報の分散管理機構として運用実験を行っている「IAAシステム」やプッシュホンから音声指示の情報登録や検索ができるシステム、インターネットFAXを使った情報登録と検索結果取得システムなどが実験され、防災訓練会場とは別にインターネットでも参加できるようになっていた。

URL <http://www.tokyo-teleport.co.jp/saigai/>

Technology W3Cがスタイルシート XSL 1.0の ワーキングドラフトを公開

W3Cは、ウェブ開発者の作業を拡張する新しいスタイルシート「XSL (Extensible Style Language) 1.0」のワーキングドラフトを8月18日に公開した。XSLはウェブの表現力を高めるとともに、複雑な文書構造を処理できるスタイルシート。すでに多くのWWWブラウザに実装されているCSS (Cascading Style Sheets) と並行して開発されている。CSSは、HTML文書とXML文書のスタイルシートとして使われ、さらにXSLでXML文書のスタイルを指定するとXMLのデータから別の新しいXML文書を生成できる。また、ウェブの文書の印刷形式をワープロ程度に指定できるように開発され、より高度な印刷技術をサポートするという。

URL <http://www.w3.org/Style/XSL/>

Company Yahoo! JAPANが Amazon.comと提携 書籍販売を支援

ヤフーは、米Yahoo!が米Amazon.comと各国のYahoo!サイトでオンライン書籍などの販売の広告に関し、2001年3月までの契約を締結したのを受け、日本でもサービスを開始すると発表した。具体的には、Yahoo! JAPANのサイト上に1999年4月からAmazon.comが扱っている書籍の販売サイトへリンクを張るアイコンを設置し、その契約金として約385万ドルを受けることになったという。ユーザーはこのアイコンをクリックすると、関心のある書籍をインターネットで簡単に注文や購入ができるようになる。Amazon.comはこれにより、多くのユーザーを呼び寄せ、販売量の増加を目指す。ヤフーは今回の提携で、日本のインターネットショッピングの普及を期待している。

URL <http://www.yahoo.co.jp/>

Campaign ビートルズオフィシャル ホームページの無料体験 キャンペーンを実施

プロバイダーであるパナソニック・ハイホーは、新規入会すればビートルズに関する最新情報や全曲データベース、グッズのオンラインショッピングなどが楽しめる「Bネット」(月額会費300円)を無料で体験できるキャンペーンを10月10日まで実施している。また、キャンペーン期間中にBネットに正式入会した人を対象に「ビートルズ直筆サイン額」などを抽選でプレゼントする。

URL <http://town.hi-ho.ne.jp/bnet/>



貴重な「ビートルズ直筆サイン額」が当たる

Event イベントカレンダー(1998年9月~12月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へ確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
9月30日	10月3日	WORLD PC EXPO 98 URL http://wpc98.nikkeibp.co.jp/	特定の機種やOSに限定しないで、パソコンのハードやソフトからサービスに至るまで、あらゆる製品や技術が一堂に会するパソコン総合展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社
10月8日	10月10日	エレクトロニクスショー'98 URL http://www.jesa.or.jp/jes98/top/top_j.html	オーディオ、ビジュアル関連、マルチメディア関連の機器や部品、デバイスなどの展示会。	インテックス大阪(大阪国際見本市会場) 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102	主 (社)日本電子機械工業会(EIAJ) 関 日本エレクトロニクスショー協会(JESA) Tel. 03-5402-7601 Fax. 03-5402-7605
10月13日	10月14日	岡山情報ハイウェイ・フォーラム'98 URL http://www.okix.or.jp/forum/	岡山情報ハイウェイの運用開始を半年後に控え、地域ネットワークの活用法の紹介や技術の展示、パネルディスカッション、カンファレンスを開催。	岡山勤労者総合福祉センター 「岡山テルサ」 岡山県都窪郡早島町矢尾793	主 岡山県、岡山県高度情報化実験推進協議会 関 岡山県高度情報化実験推進協議会事務局 Tel. 086-292-6124 Fax. 086-292-3023
10月13日	10月16日	プレゼンテーションツールトレードフェア'98 URL http://www.nikkan.co.jp/eve/	プレゼンテーションやDTP用ソフト、プロジェクトなどの周辺機器、デジタル媒体に関する展示会。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 関 日刊工業新聞社 Tel. 03-3222-7232
10月21日	10月23日	Seybold Seminars Tokyo URL http://www.sbforums.co.jp/	デジタルプリンティング分野の最先端製品や技術が集結する最大のトレードショーとカンファレンス。	池袋サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3-1-1	主 関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433
10月21日	10月23日	DATABASE '98 Tokyo URL http://www.nikkei.co.jp/events/database/	インターネット、CD-ROMなどで提供される、ビジネスから科学技術情報までさまざまなジャンルの商用データベースやデータベースを支援するシステムが一堂に会す総合展示会。	東京国際フォーラム 東京都千代田区大手町1-9-5	主 (財)データベース振興センター(DPC) 関 日本データベース協会(DINA) 関 日本経済新聞社 DATABASE '98 TOKYO 運営事務局 Tel. 03-5255-2847 Fax. 03-5255-2860
10月29日	10月30日	Computer Telephony Conference & Exposition Japan98 URL http://www.ctxpojapan.co.jp/	世界最大規模のCT国際トレードショー。CTに関する最新製品や技術が一堂に集結。	池袋サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3-1-1	主 関 ミラーフリーマンジャパン Tel. 03-3669-5811
11月4日	11月6日	Windows NT INTRANET Solutions Tokyo98 URL http://www.sbforums.co.jp/wntis98/	ウィンドウズNTやイントラネット関連の機器およびソフトの展示のほか、企業/ネットワークアプリケーション展望など、カンファレンスも開催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433
11月10日	11月13日	COM JAPAN 1998 URL http://www.comjapan.gr.jp/	情報と通信に関する総合展示会。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 通信機械工業会(CIAJ)(社)日本電子工業振興協会(JEIDA)(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会(JPSA) 関 COM JAPAN 実施協議会事務局 Tel. 03-3231-8788 Fax. 03-3231-8789
11月11日	11月12日	The Perl Conference JAPAN URL http://www.oreilly.co.jp/perl.htm	プログラミング言語「Perl」に特化した唯一のカンファレンス。チュートリアルとワークショップによる2トラック構成。	パークハイアット東京 39階 東京都新宿区西新宿3-7-1-2	主 関 オライリー・ジャパン The Perl Conference 事務局 Tel. 03-3356-5227 Fax. 03-3356-5261
11月11日	11月13日	'98 国際放送機器展 URL http://home.jesa.or.jp/guide/bee98/	音と映像のプロフェッショナル展。放送関連、CATV関連、プロオーディオ機器などの機材が多数出展。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 (社)日本電子機械工業会(EIAJ) 関 日本エレクトロニクスショー協会 Tel. 03-5402-7601 Fax. 03-5402-7605
11月18日	11月20日	MST'98 (マイコンシステム& ツールフェア) URL http://www.jasa.or.jp/mst98/	アジア最大の組み込みアプリケーションの設計・開発に関するソフトやハードの応用技術展。	東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東京都江東区有明3-21-1	主 関 日本システムハウス協会 Tel. 03-3668-3151
11月25日	11月27日	ContentCreation+NICOGRAPH 98 URL http://www.nikkei.co.jp/events/ccn/	2D/3D CGとデジタルデザイン、コンテンツの制作およびデジタル作品の流通にかかわる展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 (財)マルチメディアコンテンツ振興協会、 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel. 03-5255-2847 Fax. 03-5255-2860

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
10月5日	10月9日	Fall Internet World '98 URL http://events.internet.com/fall98/	インターネット関連の総合展示会。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 Mecklermedia Corporation Tel. +1-203-226-6967
10月6日	10月8日	NETWORLd + INTEROP 98 London URL http://www.interop.com/Calendar/	最先端のネットワーク技術&情報に関するアプリケーションとインフラの展示会。	Earls Court II London, England	関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433
11月9日	11月10日	Streaming Media '98 URL http://www.firstconf.com/c43/	インターネットのストリーミング技術に関する国際会議と展示会。	Grand Hyatt San Francisco San Francisco, CA, USA	関 First Conferences Tel. +1-800-814-3459 Fax. +1-415-495-3366
11月16日	11月20日	COMDEX/Fall '98 URL http://www.comdex.com/	世界最大のコンピュータ関連の総合展示会。	Las Vegas Convention Center Las Vegas, NV, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433
12月7日	12月10日	COMDEX/Enterprise New York '98 URL http://www.comdex.com/	プロフェッショナル向けのインターネットテクノロジーに関する展示会、カンファレンス。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 ソフトバンクフォーラム Tel. 03-5642-8433



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp